

自由研究で意識高める



ジュニア防災検定で表彰された(右から)石村和香菜さん、田中星香さん、大槻紗希さん

ジュニア防災検定、優秀者を表彰

子どもたちに普段から防災の意識を高めてもらうことを目的に行われている「ジュニア防災検定」(防災教育推進協会主催)の表彰式が3月22日、東京都内で開かれ、成績優秀の小学生3人が研究内容を発表しました。

検定は2011年に発生した東日本大震災をきっかけにスタートし、今年で13回目です。地震や台風、水害などの自然災害の実態について知るとともに、災害への備えや発生した時の避難、その後の生活再建などについても学びます。こ

うした知識に加えて「防災ポスター」や「防災新聞」「家族防災会議レポート」などの自由研究も課題になっていて、より実践的な能力を家族と一緒に備えることを目的としています。これまで約7万5000人が受験し、2025年度は約6000人が受験しました。

津波に備える

表彰式では、中でも自由研究が優秀だった3人が表彰されました。和歌山県広川町立広小学校5年の石村和香菜さんは、江



石村和香菜さんによる発表



田中星香さんによる発表



大槻紗希さんによる発表

の火祭り」などの行事を通して、住民たちが引き継いでいることをまとめました。「自分の命は自分で守る」ことの大切さを語りました。

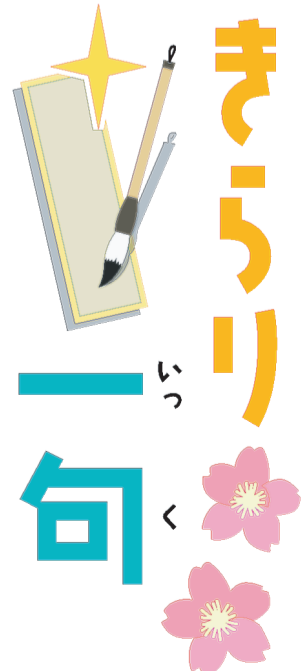
防災アンケート

愛媛大学教育学部付属中学校1年(受賞当時は愛媛県伊予市立北山崎小学校6年)、田中星香さんは、南海トラフ地震が発生した時に地元で大きな被害が予想されることから、市民に防災に関するアンケートを行ったり、地域の区長さんにインタビューしたりした内容をまとめました。「普段から非常食を入れた防災バッグを準備しておくことが大切です」と訴えました。

災害多い京都

大阪府高槻市にある関西大学初等部6年の大槻紗希さんは、住んでいる京都市の防災について調べました。京都市は袋小路と呼ばれる狭い道があり、木造家屋も多いので、大火事の歴史もあります。また周辺には大きな断層が走っていることや、水害も起こりやすい地形であることを紹介しました。「いかに災害が多い町かを知って驚きました。知って備えることが大切です」と話していました。

【森忠彦】



桜とね

私お話

したいんだ

神奈川県相模原市立大野台小4年 伊藤結香



寒太先生評

「桜」の花が満開で、暖かい一日です。「私」は花といっぱい「お話」をして、仲良くなりたいたいですね。中七・下五の呼びかけがよかったです。

選者・石寒太 え・清田万作

●作品を送ってね●

はがきに、あなたの作品と①住所②名前(ふりがなも)③電話番号④学校名(同)・学年



—を書いて、〒100-8051(住所不要)毎日小学生新聞「きらり」へ送る。メール(maishou@mainic.hi.co.jp)とQRコードからのフォームでも受け付けます。作品は添削することがあり、ニュースサイトなどにも掲載することがあります。投稿時の学年を掲載しています。

△4月の季語▽エープリルフル、おぼろ月、山笑う、花冷え、花いかだ、入学 進級、八重桜、チューリップ、菜の花、ツツジ、ツバメ、ゴールデンウィーク